発達障害相談事業・ 2020年の概況

電話による発達障害相談および大学外教育・医療機関における発達障害相談

1. 実 施 回 数 (電話相談のみ)

電 話 受 付 : 138 回

2016年度より、乳幼児期から学齢期までを中心・対象とすることとした

新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言発令の為、4・5月は大学閉鎖であった

第 1 期 : 令和 2 年 1 月 6日 ~ 3月17日 36 回

第 2 期 : 令和 2 年 6 月 1日 ~ 8月 7日 38 回

第 3 期 : 令和 2 年 8 月 24日 ~ 12月18日 64 回

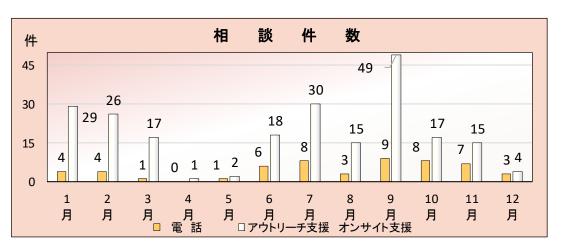
2. 相談件数(電話相談+ アウトリーチ支援オンサイト支援)のベ277件(図1)

《相談のベ件数》

(単位:件)

のべ件数	電話	アウトリーチ支援 オンサイト支援	計
第 1 期 1月~ 3月	9	72	81
第2期 4月~8月前半	18	66	84
第 3 期 8月後半~ 12月	27	85	112
計	54	223	277

≪ 電話・アウトリーチ支援 オンサイト支援 月別相談件数 ≫



(図1)

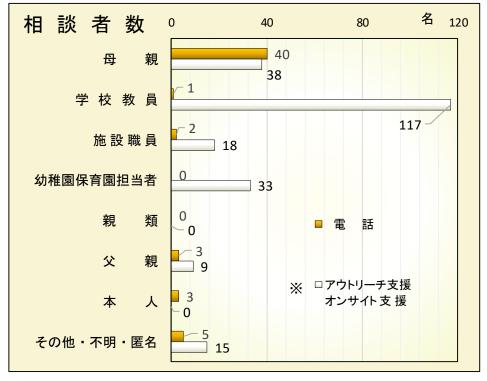
3. 相談者および相談の主訴分類

1) 相談者の分類 (図2)

(単位:件)

相談者の分類	電話	アウトリーチ支援 オンサイト 支 援	計
母親	40	38	78
学 校 教 員	1	117	118
施設職員	2	18	20
幼稚園保育園担当者	0	33	33
親 類	0	0	0
父 親	3	9	12
本 人	3	0	3
その他・不明・匿名	5	15	20
計	54	※ 230	284

※ 複数の相談者が同席していた場合、すべてをカウントした。 230の内訳は、相談件数 223+同席者人数 7 である。



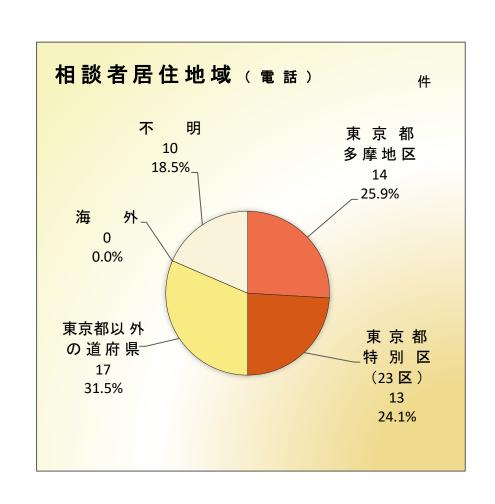
相談者の分類 (図2)

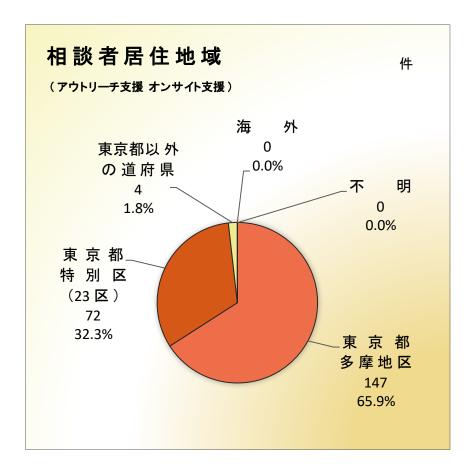
※ 複数の相談者が同席していた場合、すべてをカウントした。

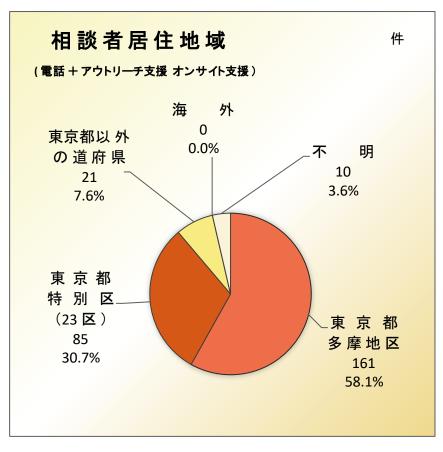
2) 相談者の居住地域 (図3)

(単位:件)

居住地域	電話	アウトリーチ支援 オンサイト支援	計
東京都多摩地区	14	147	161
東京都特別区(23区)	13	72	85
東京都以外の道府県	17	4	21
海外	0	0	0
不 明	10	0	10
計	54	223	277



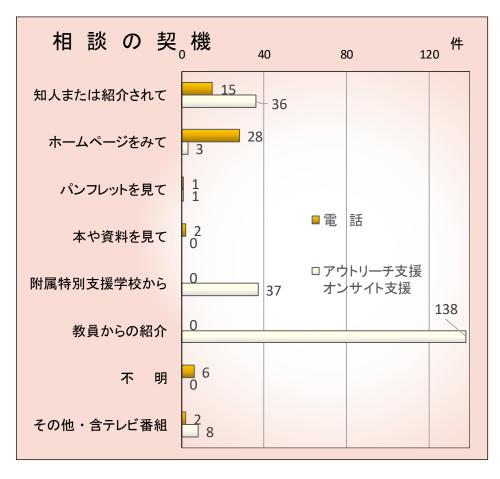




相談者の居住地域(図3)

3) 相談の契機 (図4 277件)

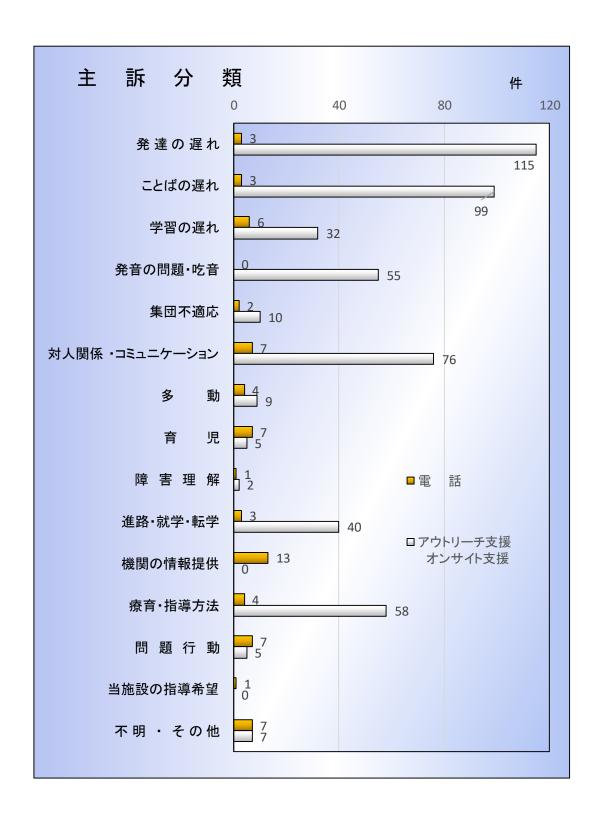
契機	電話		アウトリーチ支援 オンサイト支援		計	
	件	%	件	%	件	%
知人または紹介されて	15	27.8	36	16.1	51	18.4
ホームページをみて	28	51.9	3	1.3	31	11.2
パンフレットを見て	1	1.9	1	0.5	2	0.7
本や資料を見て	2	3.7	0	0.0	2	0.7
附属特別支援学校から	0	0.0	37	16.6	37	13.4
教員からの紹介	0	0.0	138	61.9	138	49.8
不 明	6	11.0	0	0.0	6	2.2
その他・含テレビ番組	2	3.7	8	3.6	10	3.6
計	54	100.0	223	100.0	277	100.0



相談の契機 (図4)

4) 主 訴 分 類 (図5相談者からの重複相談件数581件)

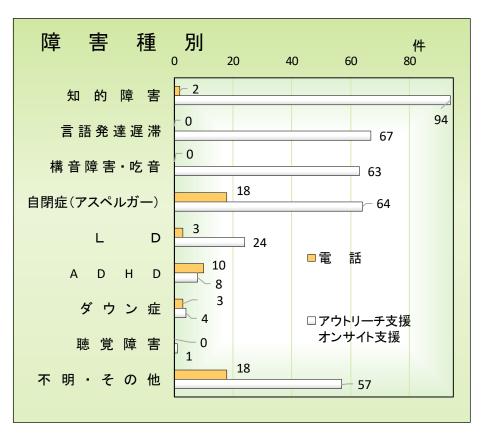
主訴分類	電話		アウトリーチ支援 オンサイト支援		計	
	件	%	件	%	件	%
発達の遅れ	3	5.6	115	51.6	118	42.6
ことばの遅れ	3	5.6	99	44.4	102	36.8
学習の遅れ	6	11.1	32	14.3	38	13.7
発音の問題・吃音	0	0.0	55	24.7	55	19.9
集団不適応	2	3.7	10	4.5	12	4.3
対人関係・コミュニケーション	7	13.0	76	34.1	83	30.0
多動	4	7.4	9	4.0	13	4.7
育児	7	13.0	5	2.2	12	4.3
障害理解	1	1.9	2	0.9	3	1.1
進 路·就 学·転 学	3	5.6	40	17.9	43	15.5
機関の情報提供	13	24.1	0	0.0	13	4.7
療育·指導方法	4	7.4	58	26.0	62	22.4
問題行動	7	13.0	5	2.2	12	4.3
当施設の指導希望	1	1.9	0	0.0	1	0.4
不明・その他	7	13.0	7	3.1	14	5.1
計	68		513		581	



相談の主訴(図5重複あり)

5) 相談主訴の対象や内容の障害種別(図6重複あり障害児・者436件)

対象や種別	電話		アウトリーチ支援 オンサイト支援		計	
7.1 3K (1至 7/1	件	%	件	%	件	%
知 的 障 害	2	3.7	94	42.2	96	34.7
言語発達遅滞	0	0.0	67	30.0	67	24.2
構音障害・吃音	0	0.0	63	28.3	63	22.7
自閉症(アスペルガー)	18	33.3	64	28.7	82	29.6
L D	3	5.6	24	10.8	27	9.7
ADHD	10	18.5	8	3.6	18	6.5
ダ ウ ン 症	3	5.6	4	1.8	7	2.5
聴 覚 障 害	0	0.0	1	0.4	1	0.4
不明・その他	18	33.3	57	25.6	75	27.1
計	54		382		436	



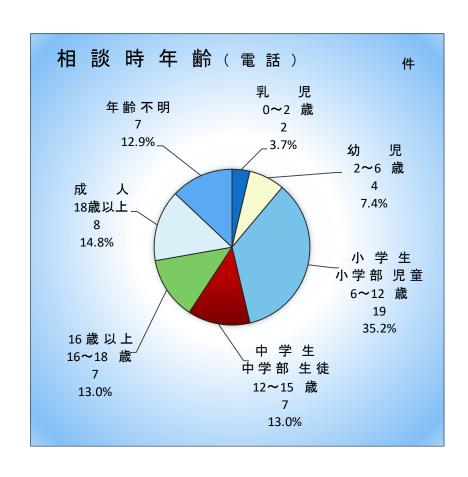
相談主訴の対象や内容の障害種別(図6 重複あり)

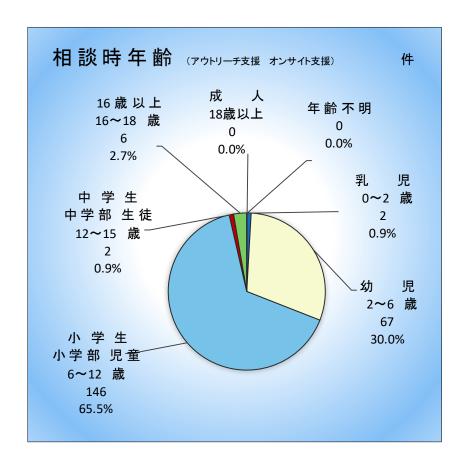
6) 相談主訴の対象である障害児・者の年齢構成(図7)

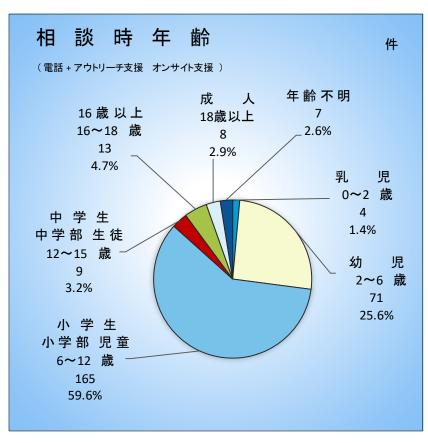
(単位:件)

相談時年齢	電話	アウトリーチ支援 オンサイト支援	計
乳 児 0~2歳	2	2	4
幼 児 2~6歳	4	67	71
小学生 小学部 児童 6~12歳	19	146	165
中学生 中学部 生徒 12~15歳	7	2	9
16 歳以上 16~18歳	7	6	13
成人 18 歳 以上	8	0	8
年 齢 不 明	7	0	7
計	54	223	277

(電話相談に於いては、2016年度より、乳幼児期・学齢期迄を中心・対象とすることとした)





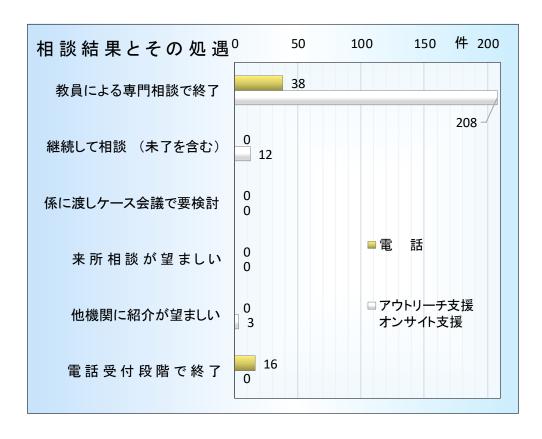


相談主訴の対象である障害児・者の年齢構成 (図 7)

7) 相談結果とその処遇 (図8 277件)

(単位:件)

結果と処遇	電話	アウトリーチ支援 オンサイト支援	計
教員による専門相談で終了	38	208	246
継続して相談(未了を含む)	0	12	12
係に渡しケース会議で要検討	0	0	0
来所相談が望ましい	0	0	0
他機関に紹介が望ましい	0	3	3
電話受付段階で終了	16	0	16
計	54	223	277



相 談 結 果 と そ の 処 遇 (図 8)

以 上